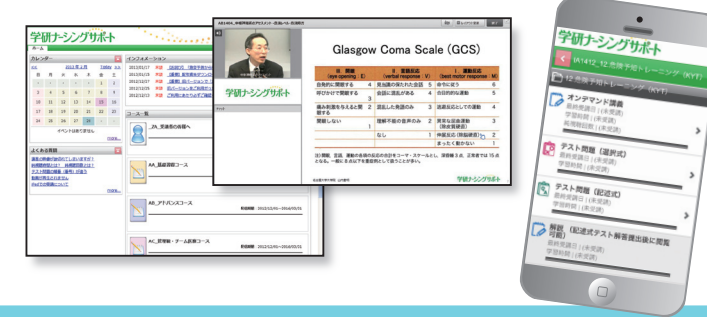


学研ナースングサポートとは？

院内研修のための講義映像を、年間で系統的に配信するサービスです。パソコンとネット環境、あとはプロジェクターなどのわずかな備品と準備で、著名な講師による研修を、院内で効率よく実施することができます。



コース紹介 全14コース135テーマ(+看護手技の動画100テーマ以上)を組み合わせてご利用いただけます！

基本3コース(月ごと各12テーマ)

基礎習得コース + 中堅コース or 管理職・チーム医療コース + 精神科コース

各コース毎月1テーマ配信(講義配信期間は4週間)
※中堅コースのみライブ配信(生中継)あり

※「基本パッケージ(一般)」では「中堅コース」が、「基本パッケージ(精神科)」では「精神科コース」がご利用いただけます

看護研究コース (15テーマ)

看護補助者研修コース (10テーマ)

基礎習得コース セレクション (6テーマ)

全テーマ2016年3月末まで配信

院内全体研修コース 全テーマ2016年3月末まで配信

医療安全コース (2テーマ) 感染対策コース (2テーマ) 接遇・倫理コース (2テーマ)

選べるオプションコース

看護管理者特別コースⅠ (12テーマ) 全テーマ 2016年3月末まで配信

看護管理者特別コースⅡ (12テーマ) 全テーマ 2016年3月末まで配信

ビジュアルナースングメソッド (約100テーマ) 全テーマ 2016年3月末まで配信

退院調整・地域包括ケアコース (12テーマ) 各コース毎月1テーマ配信(講義配信期間は4週間)

精神科コース (12テーマ) 各コース毎月1テーマ配信(講義配信期間は4週間)
※「基本パッケージ(一般)」を ご契約されたお客様向け

オプションとしてではなく
単体でも申し込めます！

コース名	配信期間	料金(税別)	契約形態
「基本パッケージ(一般)」または「基本パッケージ(精神科)」			
基礎習得コース	各コース毎月1テーマ配信(講義視聴期間は4週間)	病床数による	年度契約のみ
中堅コースまたは精神科コース		199床以下……………	
管理職・チーム医療コース		39,800円/月	
看護研究コース	全15テーマ:2016年3月末まで配信	200～399床……………	
看護補助者研修コース	全10テーマ:2016年3月末まで配信	49,800円/月	
基礎習得コースセレクション	全6テーマ:2016年3月末まで配信	400～599床……………	年度契約のみ
医療安全コース	全2テーマ:2016年3月末まで配信	59,800円/月	
感染対策コース	全2テーマ:2016年3月末まで配信	600床以上……………	
接遇・倫理コース	全2テーマ:2016年3月末まで配信	69,800円/月	
オプションコース			
看護管理者特別コースⅠ	全12テーマ:2016年3月末まで配信	120,000円/年度	年度契約のみ
看護管理者特別コースⅡ	全12テーマ:2016年3月末まで配信	120,000円/年度	
ビジュアルナースングメソッド	全テーマ2016年3月末まで配信	240,000円/年度	
退院調整・地域包括ケアコース	各コース毎月1テーマ配信(講義視聴期間は4週間)	10,000円/月	
精神科コース(「基本パッケージ(一般)」を ご契約のお客さま向け)		10,000円/月	

※ビジュアルナースングメソッドを単体で(基本パッケージのお申し込みなく)お申し込みされる場合は、480,000円/年度(税別)となります

「学研ナースングサポート」は 院内研修の仕組みと組み合わせ 学習できます！

なぜなら

第一線で活躍する講師陣の講義を定期配信

様々なレベル・対象者を網羅した全14コース

最新の情報・技術・知識を習得できる！

研修カリキュラムに組み込みやすい！

内容は…

60分間講義+テストと解説

60分間の講義、テストをインターネットで配信します(講師に質問も可能です)

いつでもどこでも学習できる！

院内集合研修

ライブ(生中継) インターネットを通して講義を生中継！講義中に質問も可能です(ライブは中堅コースのみ)

ビデオ・オン・デマンド (24時間好きな時間に) ライブ5日後より配信開始！配信期間中は24時間いつでも研修を設定可能です

個別学習

PC・スマートフォン・タブレット端末で

Point! 院内研修でご活用いただけるよう、印刷レイアウト自由な講義資料、テスト問題用紙、受講意欲向上に役立つ修了証ツールをご用意

↓この結果は

学習履歴を自動保存。後日確認できます！

受講費用	「基本パッケージ(一般)」または「基本パッケージ(精神科)」	病床数	199床以下	200～399床	400～599床	600床以上	年度契約のみ
	料金(税別)		39,800円/月	49,800円/月	59,800円/月	69,800円/月	
オプションコース(税別)	看護管理者特別コースⅠ	看護管理者特別コースⅡ	ビジュアルナースングメソッド	退院調整・地域包括ケアコース	精神科コース(「基本パッケージ(一般)」を ご契約のお客さま向け)		年度契約のみ
	120,000円/年度	120,000円/年度	240,000円/年度	10,000円/月	10,000円/月		

※ビジュアルナースングメソッドを単体で(基本パッケージのお申し込みなく)お申し込みされる場合は、480,000円/年度(税別)となります

お問い合わせ 資料請求 **株式会社 学研メディカルサポート** TEL.03-6431-1228(代表) 平日9:00～18:00 担当:営業企画部
〒141-8414 東京都品川区西五反田2-11-8 FAX.03-6431-1414 http://gakken-meds.jp
2014年10月より社名を変更しました。 衣袋協力:株式会社アプロワールド 20150123

2015 年度版 学研ナースングサポート

いますぐ！最新講義を院内の研修カリキュラムに組み込めます！

看護師向け講義の ネット配信

学研ナースングサポートは、著名な講師による最新情報にもついた講義の「オンライン宅配便」です。看護部の院内研修に組み込んで、またスタッフの自己研鑽の一環として、ぜひご活用ください。

いつでも有名な先生の講義が聴けて嬉しい

先生が、自身の言葉で講義するから概念的内容もわかりやすい

集合研修に

いつでもどこでも何度でも

個別学習に

先生が、自身の言葉で講義するから概念的内容もわかりやすい

育休中のスタッフにも

動画で実際のケアが見られるから実践的！

スマートフォン・タブレット端末で

通勤中に聞いています！スマホ対応ありがとうございます！

無料
デモ体験
できます！

Q 学研ナースングサポート 検索

Gakken

ご利用病院様の声 続々と反響がよせられています！



ビデオ・オン・デマンド講義はひと手間かけて、より効果的！

導入して安心するのではなく、受講を促進するための仕掛けが大事と思っています。必須研修の計画は、複数回ランチョンで行う、またパート職員対象の研修は15時から開催する。個人へは講義を見逃さないためのインフォメーションを出す工夫など、いつでもできる学研ナースングサポートをより効果的に活用するために教育委員の知恵の絞りどころがたくさんあります！



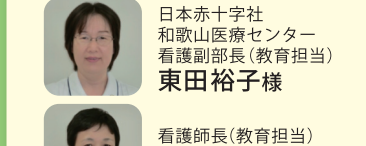
テストで達成感！看護師向けラダー別教育と看護補助者の研修に活用

看護師教育において、学研ナースングサポートのテストと講義をラダー別教育に合わせて受講計画を立て、そこに利用しています。また看護補助者研修でも、要点が集約され短時間でできる内容のため、大いに活用させていただいております。受講者からは「受講終了後にテストを行ない、知識確認ができるので達成感がある」との声があらとても好評です。



産休中を含み888名すべての看護部職員が自分のペースで活用中

新人向けには、集合研修の事前学習や部署学習に活用し、指導者の負担を軽減。また、看護師長以上に向けては、管理者研修として活用しています。さらに、認定看護管理者主体で、「看護管理者特別コース」の研修を開催。他にも看護業務検討委員会が看護ヘルパー向けに「看護補助者研修コース」を集合教育で活用するなど、病棟・産休・育休中を含むすべての看護部スタッフが何らかの形で学研ナースングサポートを活用しております。



活用方法は施設次第！e-ラーニング大活躍！

学研ナースングサポートの効果的な運用方法を、教育委員会が一生涯考えながら、頑張っています。アイディア次第では、如何様にも活用が可能となり、スタッフの離職防止策としての活用も期待できると思われます。また、来年開始される予定のナースングポートフォリオ™もe-ラーニングと連携しているとのこと、ラダーに合わせた目標管理のツールとして期待しています。



学研ナースングサポートの講義で「看護力の底上げ」を目指す！

学研ナースングサポートには、院内教育や研修だけでは限界があった「看護力の底上げ」の可能性を感じています。新卒看護師が学べる基礎コースからベテランまで学べる精神科コースなど、豊富なビデオ・オン・デマンド講義をフルに有効活用して看護力向上に活かしていきたいと思っています。



学研ナースングサポートの講義で「看護力の底上げ」を目指す！

学研ナースングサポートには、院内教育や研修だけでは限界があった「看護力の底上げ」の可能性を感じています。新卒看護師が学べる基礎コースからベテランまで学べる精神科コースなど、豊富なビデオ・オン・デマンド講義をフルに有効活用して看護力向上に活かしていきたいと思っています。

受講生の声 (2014年度講義のアンケートより抜粋)

現場で日常的に行っている「目標管理」「グループマネジメント」「人材育成」の関係が分かりやすく説明されていた。
<管理職・チーム医療コース「病棟に必要な病棟運営のコツ」>

改めて患者さんとの忘れられない場面を振り返る機会となった。看護はその瞬間だけでなく、時間が経っても自分自身に生きてくる！
<基礎習得コース「看護の魅力」>

今までは、麻酔については本や雑誌の情報のみ、そして古い知識のままでしたが、講義では手術後の観察のポイントが最新情報とともに理解できました。
<中堅コース「麻酔の基礎知識と鎮痛・鎮静の考え方」>

看護助手として、報告・相談はできているか？身だしなみは好感度だけでなく感染の面からも必要だが、できているか？…いまだ一度基本を振り返るきっかけになった。
<看護補助者研修コース「業務上の責任と倫理」>

講義にあった「絞り込みシート」は、テーマの検討に生かせる！自分は非クリティカルシンキングになる傾向があるようなので注意していきたい。
<看護研究コース「研究テーマの絞り込み」>

Voices

2015年度講義配信スケジュール

(2015年4月～2016年3月) ※ やむを得ない事情により日程・講師・テーマが変わる場合があります

2015年度学研ナースングサポートは、
「さらなる安全」「地域包括ケア」「生涯学習」を掲げ、全14コースをラインナップ！

基本3コース

基礎習得コース

(1テーマ60分)

新人に必要な最新看護技術を写真・動画を使ってわかりやすく講義

テーマ	講師
4月 感染防止対策のための基礎知識 —これだけは絶対覚えて！ 標準予防策—	吉田 理香 先生 東京医療科学大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学 准教授 / 感染管理認定看護師
5月 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱い	小林剛志 先生 平塚共済病院 臨床工技士長
6月 静脈血採血のコツとワザ	藤田 浩 先生 東京都立墨堤病院 臨床検査科 輸血科 部長
7月 看護業務と医療安全	安井 はるみ 先生 セコム医療システム株式会社 企画課 部長
8月 急変対応すぐやる技術	藤野 智子 先生 東京医療科学大学 看護部 看護部 専門・認定看護師 統括師長
9月 看護記録をどう書くか	三浦 紀子 先生 多摩市立病院 看護部長
10月 看取りとエンゼルケア	佐々木 祐子 先生 新潟南大学 看護学科 成人看護学 准教授
11月 経管栄養のチューブ管理	寺見 雅子 先生 新潟県リハビリテーション病院 看護部長 / 摂食・嚥下障害看護 認定看護師
12月 ハイリスク患者の感染予防ケア —高齢患者を中心に—	鈴木 幹三 先生 名古屋市立大学 看護学部
1月 心電図モニタのみかた、使いかた、 アラーム対応	徳野 慎一 先生 東京大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 学術助教授
2月 輸血の準備から実施、実施後の観察	田中 朝志 先生 東京医科大学 八王子医療センター 臨床検査医学部 准教授 / 輸血科 部長
3月 看護の“心とわざ”	村松 幹子 先生 在宅看護研究センター 代表

※オンデマンド講義配信期間は約4週間です。オンデマンド講義のみのご利用となります。

中堅コース

(1テーマ60分)

3年以上の看護師が専門の領域を学習するためのステップアップコース

テーマ	講師	テーマ	講師
4月 呼吸音の聴診	山内 豊明 先生 名古屋大学大学院 医学系研究科 臨床アセスメント看護学 分野 教授	10月 糖尿病の合併症ケア —網膜症、腎症、神経障害、足病変—	畑中 あかね 先生 大阪医科大学 看護学部・ 大阪医科大学 看護部 糖尿病看護認定看護師・ 慢性疾患看護専門看護師
5月 せん妄の理解とその対応 —予防と早期発見、対処法—	鶴田 良介 先生 山口大学医学部附属病院 先進医療医療センター センター長	11月 皮膚疾患をふまえた 科学的スキンケア	安部 正敏 先生 札幌皮膚科クリニック 副院長
6月 中堅看護師の力で病棟は変わる	佐藤 紀子 先生 東京都立墨堤病院 看護部 看護学 准教授	12月 抗がん薬の最新知識と 最新レジメンの理解	中根 実 先生 武蔵野赤十字病院 腫瘍内科 部長
7月 重症度、医療・看護必要度、 記録記載のポイント	高橋 弘枝 先生 JCHO 大阪病院 看護部長	1月 認知症の早期診断(スクリーニング) と早期治療・ケア	長田 乾 先生 秋田県立総合医療センター 神経内科診療部 研究部長
8月 一般病棟でもできる 人工呼吸器管理のポイント	中根 正樹 先生 山形大学医学部附属病院 臨床集中治療センター 教授	2月 看護に役立つ胸部画像のみかた	金子 敦宏 先生 山形大学医学部附属病院 呼吸器内科 部長 山形県クリニック 副院長
9月 口から食べるを実現する —経管栄養から経口摂取へ—	三鬼 達人 先生 NTT 東日本関東病院 看護部 看護学 准教授	3月 障害受容の理解と患者支援	稲川 利光 先生 リハビリテーション科 部長

※オンデマンド講義配信期間は約4週間です。ライブ講義とオンデマンド講義をご利用いただけます。

精神科コース

(1テーマ60分) 精神科の実践的知識から最新のトピックまで網羅

監修 黒田美喜子先生 東京都立松沢病院 看護部長 北野進先生 東京都立松沢病院 精神看護専門看護師

テーマ	講師	テーマ	講師
4月 精神疾患における早期介入	青野 悦子 先生 東京都立松沢病院 訪問看護室 わか外来 主任看護師	10月 アディクション看護	松下 年子 先生 横浜市立大学大学院 医学部 看護学 精神看護学 教授
5月 大人の発達障害の理解と看護	高橋 寛光 先生 東京都立松沢病院 精神看護専門看護師	11月 多職種チーム医療 —精神保健福祉士を知る—	井上 薫子 先生 徳永会 長谷川病院 医療社会事業部 精神保健福祉士
6月 精神科退院調整と訪問看護 —アウトリーチと地域ケアマネジメント—	石川 博康 先生 東京都立松沢病院 精神看護専門看護師	12月 臨床における 自殺防止に向けた看護	寺岡 征太郎 先生 東京都立松沢病院 看護学 精神看護学 講師
7月 精神科薬物療法と看護	辻越 邦彦 先生 埼玉医科大学 保健医療学部 看護学 精神看護学 准教授	1月 感情調節困難な患者の理解と看護	熊地 美枝 先生 国立精神・神経医療研究センター病院 精神看護専門看護師
8月 多職種チーム医療 —心理療法士を知る—	古村 健生 先生 東京都立松沢病院 司法精神医学部 臨床心理士	2月 WRAP(元気回復プラン) —精神面のリハビリとそれに 対処するための手法を参加者と共に学ぶ—	安保 実明 先生 東京都立松沢病院 副部長 保健師 / 精神保健福祉士
9月 タイムラインモデルで行う精神科看護	山本 沙織 先生 NTT 東日本関東病院 リエゾン 精神看護専門看護師	3月 臨床で求められる これからの精神科看護	江波戸 和子 先生 東京都立松沢病院 精神看護専門看護師

※オンデマンド講義配信期間は約4週間です。オンデマンド講義のみのご利用となります。

管理職・チーム医療コース

(1テーマ60分) 管理職・チーム医療コース

管理職・チーム医療コース 身に付けるべき管理職向けテーマ 全職員のレベルアップに

テーマ	講師	テーマ	講師
4月 医療職に求められる 社会人基礎力	高橋 恵 先生 東京女子医科大学 ナースリサーチセンター 長 統括看護部長	6月 医療職のためのメンタルケア	久持 伸 先生 独立行政法人 高齢・障害・若年者 支援センター 主任心理士
5月 患者・家族へのクレーム対応と トラブルシューティングの進め方	尾内 康彦 先生 大阪府保険協会 事務局長	7月 スタッフの自立をサポートする ティーチングとコーチング	園田 茂樹 先生 東京女子医科大学 看護学 准教授
8月 看護管理者の育成 —組織管理と人材育成—	市川 幾恵 先生 昭和大学 統括看護部長	9月 メンタルヘルスの保持促進と スタッフ・ケアの実践 —健康な職場をめざして—	山崎 圭輔 先生 人間科学学 准教授
10月 効果的な 院内研修プログラムの考え方	宗村 美江子 先生 虎の門病院 副院長 / 看護部長	11月 災害看護 —地域の医療機関としての備えとは—	石井 美恵子 先生 東京医療科学大学 東が丘・ 立川看護学部 災害看護コース/ 東京医療科学大学 看護学 准教授
12月 リソースナースを活用する	渡邊 真理 先生 横浜国立大学 看護部 副院長 / 看護部長 / がん看護専門看護師	1月 師長のための病棟目標の立て方	河野 秀一 先生 株式会社サフィール 代表取締役
2月 リフレクションにおける フィードバックの方法とその技術	田村 由美 先生 日本看護学会 看護学 准教授 大学院博士課程教育 DNGI 教授	3月 チーム医療と信念対立	清水 広久 先生 埼玉医科大学 外科

※オンデマンド講義配信期間は約4週間です。オンデマンド講義のみのご利用となります。

看護研究コース

(1テーマ60分) 臨床疑問を研究へ結びつける取り組みから論文完成までの基礎知識をサポート

監修 中村美鈴先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学 教授

テーマ	講師
1 看護研究とは？ —どうして研究するの？—	上澤 弘美 先生 総合病院 土浦協同病院 救命救急センター 急性・重症患者看護専門看護師
2 研究デザインを理解するI	堀山 定美 先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学
3 研究デザインを理解するII	小幡 祐司 先生 横浜市立大学 看護部 市民総合医療センター 高度救命 救急センター 急性・重症患者看護専門看護師 看護部長
4 文献を批判的に読むI	堀山 定美 先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学
5 文献を批判的に読むII	吉田 紀子 先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学
6 研究テーマの絞り込み	谷島 雅子 先生 自治医科大学 看護学部 救命救急センター 急性・ 重症患者看護専門看護師 / 救急看護認定看護師
7 文献検索と文献検討を行う	渡邊 好江 先生 杏林大学 医学部 看護学 高度救命救急センター 急性・重症患者看護専門看護師
8 研究にまつわる倫理的配慮	吉田 紀子 先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学
9 研究計画書を作成する	渡邊 好江 先生 杏林大学 医学部 看護学 高度救命救急 センター 急性・重症患者看護専門看護師
10 研究活動を実施し、 データを得る	上澤 弘美 先生 総合病院 土浦協同病院 救命救急センター 急性・重症患者看護専門看護師
11 研究論文を作成するI —研究結果を表現する—	段ノ上 秀雄 先生 東京女子医科大学 看護学部 看護学 准教授
12 研究論文を作成するII —研究結果を考察する—	中村 美鈴 先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学 教授
13 研究論文を作成するIII —論文にまとめる—	中村 美鈴 先生 自治医科大学 看護学部 成人看護学 教授
14 研究成果を発表するI —演題応募と発表のタイプ—	段ノ上 秀雄 先生 東京女子医科大学 看護学部 看護学 准教授
15 研究成果を発表するII —バリエーションを活用する—	小幡 祐司 先生 横浜市立大学 看護部 市民総合医療センター 高度救命 救急センター 急性・重症患者看護専門看護師 看護部長

※オンデマンド講義配信期間は2016年3月末までです。オンデマンド講義のみのご利用となります。

基礎習得コースセレクション

入職時に必要とされる内容を2013、2014年度講義から厳選

テーマ	講師
1 注射法の知識と手技の実践	河原崎 純先生 済生会 横浜南病院 看護部 救命救急センター
2 これだけは知っておきたい 薬の知識	浜田 康次 先生 日本医科大学 千葉北総病院 薬剤部
3 褥瘡の基礎知識と予防法	石川 環先生 看護士大学 看護学部 看護学 准教授
4 高齢者の理解と転倒・転落予防	西山 みどり 先生 多摩市立病院 看護部 看護学 准教授
5 BLSの基礎知識と 院内急変時の医療チーム体制	箱崎 恵理 先生 東京医療科学大学 看護学 准教授
6 糖尿病の基礎知識と 血糖測定・インスリン注射	柏崎 純子 先生 東京大学大学院 医学部 看護学 准教授

※オンデマンド講義配信期間は2016年3月末までです。オンデマンド講義のみのご利用となります。

看護補助者研修コース

(1テーマ30分) 監修 虎の門病院 看護部

テーマ	講師
1 業務上の責任と倫理 —看護補助者のできることできないこと—	佐藤 順子 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
2 感染予防 —手洗い、標準予防策など—	高橋 直子 先生 虎の門病院 感染対策担当看護部長
3 移動のお世話 —歩行、車いす、ストレッチャー—	田上 真弓 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
4 清潔のお世話 —入浴、清拭、洗髪、身だしなみ—	佐藤 順子 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
5 排泄のお世話 —排尿・排便のお世話、おむつ交換など—	高橋 直子 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
6 食事のお世話 —食事のお世話、食事にまつわる事故防止など—	田上 真弓 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
7 医療安全 —事故防止の基本的な心構え、事故発生時の対応—	水落 真紀 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
8 環境整備 —環境整備、ベッドメーカー、リネン交換—	水落 真紀 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
9 洗面のお世話 —歯磨き、顔を拭く、ひげを剃る—	佐藤 順子 先生 虎の門病院 看護部 看護部長
10 医療機器の消毒 —医療機器の洗浄、消毒—	高橋 直子 先生 感染対策担当看護部長

※オンデマンド講義配信期間は2016年3月末までです。オンデマンド講義のみのご利用となります。

院内全体研修コース

すべての病院職員を対象とした押さえておきたいコース

テーマ	講師
1 医療安全文化の新しい考え方	江原 一雅 先生 滋慶医療科学大学 大学院 看護学 准教授
2 医療安全文化の醸成	落合 慈之 先生 NTT 東日本関東病院 看護部長

感染対策コース

(1テーマ60分)

テーマ	講師
1 インフルエンザ対策 up to date	永武 毅 先生 元・長崎大学附属長崎研究所 感染症研究部門 感染症対策室 主任 感染症 専門医
2 感染対策の実践と環境整備	小西 敏郎 先生 東京医療科学大学 看護学 准教授

接遇・倫理コース

(1テーマ60分)

テーマ	講師
1 医療者にとって本当に必要な接遇とは何か —チームがひとつになって高めるホスピタリティ—	奥山 美奈 先生 TIN サクセス・コーポレーション株式会社 代表取締役
2 医療倫理	清水 哲郎 先生 東京大学大学院 医学部 看護学 准教授

※オンデマンド講義配信期間は2016年3月末までです。オンデマンド講義のみのご利用となります。

オプションコース

看護管理者特別コースI

(1テーマ60分) 認定看護管理者セカンド・サードレベルの内容を凝縮

テーマ	講師	テーマ	講師
1 保健医療福祉政策の動向 —過去・現在・未来 —これからの病院、看護、介護はこう変わる—	川瀬 孝一 先生 東京医科大学大学院 医学部 医療経済学 分野 教授	7 人的資源のテーマ —中堅看護師が活き活きと働ける人材活用術—	任和子 先生 京都大学大学院 医学研究科 人間健康 科学系 准教授 臨床看護学 教授
2 看護制度・政策の動向 —過去・現在・未来、病院の1人1役基本 料実費から、訪問看護、在宅へ移行へ—	大島 敏子 先生 NPO 法人看護 キャリアサポート 顧問	8 組織論・組織分析 —魅力ある看護部、病院とは—	松浦 正子 先生 神戸大学大学院 看護学 看護部 副部長
3 診療報酬・介護報酬 —診療報酬・介護報酬 —それぞれの役割とリンク—	福井 トシ子 先生 日本看護協会 常任理事	9 質管理 —質管理手法を使って資源の 効果的・効率的な運用をめざす—	勝山 貴美子 先生 神戸大学大学院 看護学 看護部 看護学 准教授
4 財務管理・経営分析 —病院経営に直結する財務管理、 経営分析を学んで、数字に強くなる—	長英一郎 先生 東日本税理士法人 社員 副社長	10 危機管理・医療安全 —チームで取り組む危機管理・医療安全—	飛田 伊都子 先生 滋慶医療科学大学 看護学 看護部 副部長
5 労務管理 —知ってほしい労務法の知識から、 部下のワーク・ライフ・バランスまで—	外村 高樹 先生 医療法人 法入本部 人事部長 特定社会保険労務士	11 幹部管理職に必要なリーダーシップ —部長・副部長必読のリーダーシップを学ぶ—	諏訪 茂樹 先生 東京女子医科大学 看護学 看護部 准教授
6 人材確保 —実践的リクルート戦略と離職防止対策—	深澤 優子 先生 R&D Nursing ヘルスケア・ マネジメント研究所 代表	12 管理(者)の倫理 —過去・現在・未来 —これからの病院、看護、介護はこう変わる—	服部 俊子 先生 大阪市立大学 応用心理学

※オンデマンド講義配信期間は2016年3月末までです。オンデマンド講義のみのご利用となります。

看護管理者特別コースII

(1テーマ60分) 認定看護管理者セカンド・サードレベルの内容を凝縮

テーマ	講師	テーマ	講師
1 現場力が看護を変える	任和子 先生 京都大学大学院 医学研究科 人間健康 科学系 准教授 臨床看護学 教授	7 看護師・看護補助者の連携システム —看護補助者との協働による入院患者の生活支援の充実—	武井 純子 先生 相模健康センター 看護部 看護学 准教授
2 病棟の看護体制の変更 —代替時の大切なポイント—	萩原 絹子 先生 長崎大学病院 看護部 看護部長	8 看護研究の生きたり取り組み —KAIZENのための研究技法—	坂下 玲子 先生 兵庫医科大学 看護部 看護学 准教授
3 退院支援の成果を可視化する —自立支援から自立支援へ—	久保田 雅美 先生 高知医科大学 看護学 看護部 看護学 准教授 / 看護部 看護部長	9 クリニカルリーダーを生きたるものにする	松浦 正子 先生 神戸大学大学院 看護学 看護部 副部長 / 看護部長
4 超動削減の方策	山中 寛恵 先生 京都大学大学院 医学部 看護学 看護学 准教授	10 組織のモチベーションUP	西村 路子 先生 滋慶医療科学大学 看護学 看護部 副部長
5 院内の多職種チームを 看護の力に動かす	浅香 美子 先生 滋慶医療科学大学 看護学 看護部 看護学 准教授	11 中堅ナースの疲弊対策 —中堅ナースをどう支援するか—	深澤 優子 先生 東京女子医科大学 看護学 看護部 看護学 准教授 / マスジナリ研究所 代表 / 看護協会 アソシエイト代表 代表取締役
6 多職種で取り組むPFM(バイシエントフロ ーマネジメント) —PFMにおける看護の役割—	川口 幸子 先生 東海大学医学部 看護学 看護部 看護学 准教授	12 モチベーションUPのための目標管理面接	齋藤 恵子 先生 日本大学医学部 看護学 看護部 看護学 准教授 (業務・安全担当)

※オンデマンド講義配信期間は2016年3月末までです。オンデマンド講義のみのご利用となります。

退院調整・地域包括ケアコース

(1テーマ60分) 入院時から退院後をイメージできるスキルをリード

テーマ	講師	テーマ	講師
4月 地域包括ケアシステムの理解と 看護職に求められる役割	坂井 志麻 先生 東京女子医科大学 看護学部 看護学 准教授	10月 地域連携クリティカルパスでの医療連携	川口 雅裕 先生 東京女子医科大学 看護学部 看護学 准教授
5月 地域包括ケア病棟とは	酒井 南由美 先生 ヘルスケア・総合研究所 副所長	11月 地域連携の実践 —高齢患者の在宅医療支援への具体的な取り組み—	杉田 義博 先生 台東区立台東病院
6月 地域連携システム構築への取り組み	二輪 希子 先生 三井物産 看護部 看護部長	12月 医療依存度の高い患者の在宅療養支援のポイント	田崎 淳中 先生 大阪府立大学 看護学 看護部 看護学 准教授
7月 看護師が要となる退院支援システム	小坂 智恵子 先生 多摩市立病院 看護部 看護部長	1月 高齢者救急の実際と緊急時の受け入れ	太田 祥一 先生 東京医科大学 救急医学部 看護学 看護学 准教授 / 看護学 准教授
8月 医療・介護の改革と地域包括ケア —社会保障制度の解説を中心に—	野崎 加世子 先生 東京医療科学大学 看護学 看護部 看護学 准教授	2月 これからの訪問看護とは	山田 秀樹 先生 滋慶医療科学大学 看護学 看護部 看護学 准教授
9月 多職種連携による在宅での療養生活支援	野崎 加世子 先生 東京医療科学大学 看護学 看護部 看護学 准教授	3月 生活の延長線上にある看取りを支える	角田 直枝 先生 茨城県立中央病院 看護部 看護部 看護学 准教授

※オンデマンド講義配信期間は約4週間です。オンデマンド講義のみのご利用となります。

ビジュアル ナースング メソッド

手順書+テクニック動画で
基本の技術をマスター

手順書	ビデオ	テクニック	動画	理解度	テスト
新人看護職員研修ガイドライン 「看護技術についての到達目標」14領域から 約100テーマを厳選	新人看護職員研修ガイドライン 「看護技術についての到達目標」14領域から 約100テーマを厳選	新人看護職員研修ガイドライン 「看護技術についての到達目標」14領域から 約100テーマを厳選	新人看護職員研修ガイドライン 「看護技術についての到達目標」14領域から 約100テーマを厳選	新人看護職員研修ガイドライン 「看護技術についての到達目標」14領域から 約100テーマを厳選	新人看護職員研修ガイドライン 「看護技術についての到達目標」14領域から 約100テーマを厳選

※各テーマにおける手順と根拠の理解度が確認できます
※各テーマの習得レベルがわかる「評価表」も添付し、新人看護職員研修事業費報告書交付の到達目標設定に利用可能です